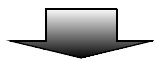


テーマ「日常の自分、日常見る風景」

例－楽器を演奏する自分、テレビを見る祖父、お茶を飲む祖母、
働く父、料理を作る母、居眠りをする妹、あくびをする愛犬



自分の作品の題「

手順	作業内容	具体的な作業	注意
1	紙に下絵をかく (4時間)	○紙全体を使って、大きく表現する。(紙は縦でも横でもよい。) ○えんぴつで描く。	* <u>右左が逆になることに</u> 気をつける
2	下絵を版木に転写する (1時間)	○下絵をセロテープで版木にはる。 ○下絵と版木の間にカーボン紙を入れる。 ○赤鉛筆で下絵をなぞる。	*セロテープは全部貼り付けると、カーボン紙が入らない。 *カーボン紙が小さい場合は、 <u>動かさないと版木に写らない。</u>
3	墨を入れる (1時間)	○彫らないで黒くするところに墨でぬる。(基本的に、黒のとなりは白、白のとなりは黒になるようにする。)	*用意するもの(1)墨汁 (2)4号か6号の水彩用筆(一人1本) * <u>極太のマジックでもよい。</u>
4	彫る (6時間)	○顔、特に目から(重要なところから) *場面ごとに彫刻刀の種類を使い分ける。 ・鋭い線や細い線は三角刀 ・柔らかい線や太い線は丸刀 ・ぼやかした背景などを表現する場合には、平刀を使う。(平刀で彫った所は、はっきりとした黒では表れない。) ・背景との境の線では、切り出し刀で線を付けておく。(そうすると、平刀で彫っているときに、余計に内側を彫ることがない。) *彫刻刀の彫り方は、 <u>浅く短く</u>	*彫刻刀は、利き手(右手)はえんぴつをにぎるように持つ。反対の手(左手)は、人差し指や中指は、刃を押さえ調節するようにし、その他の指は、下に付けて安定させるようにする。 * <u>印刀(切り出し刀)の使い道</u> ①これから彫ろうとする部分の <u>まわりを切る</u> 。これが版画でよく使う印刀の使い方である。 ② <u>小さくてせまい所を、</u> きれいに彫りたいときに効果がある。
5	刷る (4時間)	○インクを付ける場所と紙に印刷する場所の2か所(A, B)をつくる。 ○新聞紙を敷く。 A インク、ローラー、パレット B 印刷用和紙、バレン、	*2人以上で助け合う。 *紙をよごさない。 *紙が曲がらないように。